

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	保育所等訪問支援事業所 しらかば		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 10日	～	令和7年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 2	(回答者数)	2
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 10日	～	令和7年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 2	(回答者数)	2
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 1月 10日	～	令和7年 3月 15日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数) 2	(回答数)	2
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弊社の他事業の実績が、全国レベルで認知され始めている一方、当事業に関しては、まだ必要とされる方々に手が届いていないと感じる。</li> <li>また、各市町村の担当課にも、情報が届いていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他事業のイメージが強く、当事業を行なっている事に気づかれず、リンクされていない印象がある。当事業に対する弊社の認知度がまだ低い。</li> <li>当事業所の活動が、多年齢、多岐にわたり、この事業の情報発信ができていないという、こちら側の課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケースの数ではなく、中味の充実を着実に積み上げていく。時間はかかるがそれが、最も、認知されることだと、今までの経験値から感じている。</li> <li>・現に、たった2ケースであるが、市町村担当課、訪問先、御家庭などから、お子様の変化発展に対し、驚きを伴った良い評価を頂き、それが当センターへの信頼にもつながり、連携の好循環をもたらしている。</li> </ul>
2			— スタッフ①記 —

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・30年以上の臨床の経験は、小さなお子さんから学齢期の児童・生徒、不登校やひきこもりの若者、8050問題、シニアの方々の生き甲斐作りまで、幅広い層の方々を対象とした支援のノウハウの積み重ねとなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者の方々の話を、じっくり聴き、その方ご本人の中の生きづらさや困難また、取り巻く方々や環境の見取り、アセスメントを行い、丁寧に向き合う事を意識して行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他事業で得た知識と経験、また人脈を活用し、支援者及び家族が連携し合いチームとなり、対象者のお子様を中心とした温かな支援を続けていく為に、日々研修等を通じ、当事業の充実を図っていく。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記の様々な事業は行政、保護者、学校関係から、医療、民間の企業、地域の団体など、様々な立場の方々と連携を構築し、支援の輪の広がりとともに、地域創生にも役立ってきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多方面からのアプローチにより、一人一人の社会的に孤立に対応し、伴走型支援が可能になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業に関しては、弊社の強みと資源を最大限に生かし、オーダーメイドのサポートを創り上げていきたい。お子様たちが多くの「善い大人」「善い他人」と出会い、安心して過ごし、成長し、社会へ繋がるお手伝いをしていく。</li> </ul>
3			— スタッフ②記 —